

## 癌化学療法レジメン登録書

レジメン名	PTX+Tmab+Pmab
対象疾患	HER2陽性の手術不能または再発乳癌
1クールの日数	21日
目標コース数	病勢進行が認められるまで

	抗がん剤名	略号	1日投与量	単位	投与方法	投与時間	投与日
1	タキソール	PTX	80	mg/m <sup>2</sup>	div	1時間	d1,8,15
2	トラスツズマブBS	Tmab	下記参照	mg/kg	div	下記参照	d1
3	パージェタ	Pmab	下記参照	mg/body	div	下記参照	d1
4							
5							
6							
補足	トラスツズマブBS…初回8mg/kgを90分かけて投与。 2回目以降6mg/kg。忍容性あれば30分まで短縮可。 パージェタ…初回840mgを60分かけて投与。 2回目以降420mg。忍容性あれば30分まで短縮可。						

催吐リスク	軽度
前投薬	グラニセトロン注3mg、デカドロン注6.6mg、ファモチジン注20mg、ポララミン注5mg
減量規定	減量基準なし
主な副作用	悪心・嘔吐、食欲不振、骨髄抑制、倦怠感、下痢、末梢神経障害、脱毛、関節痛・筋肉痛、浮腫、口内炎、心障害、Infusion reaction
参考文献	適正使用ガイド（タキソール、ハーセプチン、パージェタ） 制吐薬適正使用ガイドライン（日本癌治療学会）
その他	タキソール：インラインフィルター使用 パージェタ：infusion reaction予防のため初回のみ投与前にカロナル錠600mgを内服

投与スケジュール

Day ( 1 )			
滴下順	手技・薬品名・規格	用量	投与時間
1	点滴末梢 メイン1 生理食塩液250mL  1日1回 (持続)	1本	持続
2	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液250mL パージェタ注  1日1回  初回のみ投与前にカロナール錠600mg内服 投与後60分経過観察 (2回目以降は30分経過観察)	1本 初回840mg 以降420mg	初回60分 以降30分
3	点滴末梢 メイン1側管1 グラニセトロン注バッグ3mg  1日1回  パージェタ投与後の観察時間中に投与	1本	15分
4	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液50mL ファモチジン注20mg ポララミン注5mg デカドロン注6.6mg  1日1回  パージェタ投与後の観察時間中に投与	1本 1本 1本 1本	15分
5	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液250mL トラスツズマブBS注  1日1回	1本 初回8mg/kg 以降6mg/kg	初回90分 以降30分
6	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液250mL タキソール注  1日1回  投与前30分空ける インラインフィルター使用	1本 80mg/m <sup>2</sup>	1時間

## Day ( 8,15 )

滴下順	手技・薬品名・規格	用量	投与時間
1	点滴末梢 メイン1 生理食塩液250mL 1日1回 (持続)	1本	持続
2	点滴末梢 メイン1側管1 グラニセトロン注バッグ3mg 1日1回	1本	15分
3	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液50mL ファモチジン注20mg ポララミン注5mg デカドロン注6.6mg 1日1回	1本 1本 1本 1本	15分
4	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液250mL タキソール注 1日1回 投与前30分空ける インラインフィルター使用	1本 80mg/m <sup>2</sup>	1時間